



がっこうだいすき

# 杉っこ通信

杉の子特別支援学校だより

平成 26 年 1 学期号  
5 月 27 日 (火) 発行

学校だよりのタイトルには、「杉の子の友だちみんなであかるい学校をつくっていきたい」という思いが込められています。今号では、杉の子のマスコットキャラクターを紹介します。

## マスコットキャラクター **すぎちゃん・のこちゃん** について

誰にでも覚えてもらいやすく、すぐに杉の子を連想してもらえるようなニックネームにしました



地域と学校、生徒、保護者など杉の子を見守っていただいている多くの方々と寄り添いながら、杉の子の子どもたちを育てていきたいという思いが込められています。

## 鈴鹿地区の自然を守る杉の子特別支援学校本校の新キャラクター

### 樹木戦隊 **すぎのこレンジャー** です！！

すぎグリーン・くろまつブラック・もみじレッド・いちょうイエロー・さくらピンクの5人です。スーパー等で黄色いレシートの日に出会えるかも！！

#### 保護者の皆様へ



\*平成26年度教科書（特別支援学校の小中学部の児童生徒が使用する教科用図書）展示会が、平成26年6月13日～26日に三重県総合教育センター（津市大谷町12番地）で開催されます。

\*日頃、登下校時の本校・鈴鹿病院周辺はいつも混雑しており、来校される皆様には、ご配慮いただいているところで。関係者すべての安全のために、最徐行・安全運転へのさらなるご協力を改めてお願いいたします。また、病院駐車場への駐車や、本校新館前のスペース（バス等の方向転換の際に必要なスペースです）への長時間の停車はお控えいただきますようお願いいたします。

杉の子特別支援学校便りは、本校・分校の情報共有および保護者・地域への情報発信を主な目的として、毎学期発行していきます。杉の子特別支援学校へのご意見、ご要望等ございましたら、お気軽にお知らせください。

＜学校だより担当＞

本校 教頭 森下理香 (059-379-1831)

分校 教頭 細木健樹 (059-373-2727)

# 杉の子特別支援学校のめざすもの

～「平成26年度学校経営の改革方針」について

校長 生駒昌之

## 1 「学校経営の改革方針」について

杉の子特別支援学校は「目指す学校像」として「一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす」ことを掲げています。子どもたちの障がいの特性や教育的ニーズを理解したうえで、一人ひとりの持っている可能性や個性を引き出し、それを伸ばしていきたいと考えています。また、子どもたちが卒業後、自立し、社会に参画し、生き生きとした生活が送れるよう、「生きる力」を育む学校でありたいと願っています。

この「目指す学校像」を実現するため、「現状と課題」を分析し、「中長期的な重点目標」を設定しています。さらに「中長期的な重点目標」を実現するために、今年度、具体的にどう取り組んでいくのか、「本年度の行動計画」で本年度実施する具体的な行動計画を記述しています。

## 2 今年度の重点的な取組について

「本年度の行動計画」の中でもとりわけ重点的に取り組んでいきたいのが、「キャリア教育の推進」、「大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実」の2点です。「防災対策、防災教育」の取組は昨年度に引き続くものであり、この『杉っこ通信』でもご説明しましたので、ここでは「キャリア教育の推進」について述べたいと思います。

### **キャリア教育の推進**

#### (1) キャリア教育とは

キャリア教育は職業観・勤労観の育成など、職業や進路に関する教育だけを言うものではありません。キャリア教育を「一人ひとりが自立、社会参加をし、自分らしく生きていくための教育」と考えています。「生きる力」を育てる教育と言っていいと思います。

したがって、キャリア教育は職業のための訓練や実習、技能修得の教育だけをさすものではありません。たとえば、あいさつすること、着替えること、食事をする事、排泄すること、通学すること、お金を管理すること、マナーやルールを守ること、コミュニケーション・・・など、自立、社会参加、生きる力を培うすべての教育活動がキャリア教育になります。キャリア教育は特別支援教育そのものとも言えます。

#### (2) キャリア教育の取組

従来から本校、分校ともキャリア教育に取り組んできました。

今年度は、すべての教育活動をキャリア教育の視点で見つめ直し、改善を図っていきます。また、一人ひとりを大切にされた連続性・一貫性のある教育を進めていきます。

なお、分校に今年度、待望の作業・実習棟が完成します。分校ではかねてより職業科の教育に力を入れてきましたが、新しい棟の完成を契機として、よりいっそう職業科教育、キャリア教育の充実に取り組んでいきます。

#### (3) ご家庭、地域のご協力を

キャリア教育は自立と社会参加、自分らしい生き方をめざすものです。授業など、学校の教育活動だけでできるものではありません。

ご家庭、地域、関係機関の皆さまのご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 平成26年度 学校経営の改革方針

### I 目指す学校像（基本理念）

#### ◇ 一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす

- 1 一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- 2 一人ひとりの自立や社会参加をめざした一貫性のある教育の構築
- 3 人権感覚あふれる学校づくりの推進
- 4 安全・安心な学習環境の整備
- 5 共生・共学の実現
- 6 教職員間の対話・会話を大切にした組織力の向上

### II 現状と課題

#### 1 現状

これまで本校は、鈴鹿病院に入院している児童生徒を対象とした教育に取り組んできた。平成20年度より鈴鹿、亀山地域の特別支援学校の拠点校として地域のニーズに対応するため、新たに知的障がいの教育部門を設置し、鈴鹿市、亀山市在住の児童生徒を対象に通学生を受け入れた。

さらに、平成22年度より県立石薬師高等学校内に石薬師分校を開設し、高等部の知的障がいの課程を開校した。

#### 2 課題

- (1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備や地域等と連携したキャリア教育の推進が必要である。
- (2) 本校と分校とがあり、各学部にも四つの課程があることから、校内の連携や情報共有が十分にできていない。
- (3) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすうえで、専門性の向上を図るとともに、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める必要がある。
- (4) 児童生徒の増加によりトイレや教室が不足するなど学習環境の整備が急務である。
- (5) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る必要がある。

### III 中長期的な重点目標

- (1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備を行う。地域等と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。
- (2) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。
- (3) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、専門性の向上を図るとともに、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める。
- (4) 安心・安全な学習環境の整備に努める。
- (5) 学校運営の効率化を図り、勤務時間の縮減に努める。

# 本校だより

## 校外歩行 <小学部>

小・中学部では校外歩行に出かけています。小学部の段階から①長い距離を歩く（体力をつける） ②交通ルールの学習 ③ 公共交通機関の利用と発達段階に応じて授業で取り組んでいます。

調理学習の材料を買うために買い物に出かける。信号に従い自分で左右を確認して渡る。車道に出ずに道の端を歩く。自動車や自転車に注意して歩く。歩く順番を理解し歩行する。



前を歩く人との間隔が一定になるように歩くなど様々な児童・生徒の目的に応じて校外歩行に取り組んでいます。

校外歩行は単に足で歩くということをしているわけではなく、安全に目的地まで歩くためには移動によって変化する周囲の環境を的確に捉えるという学習なのです。

将来的には一人で通学ができるようになることで、進路選択の幅も広がります。様々な面でご迷惑をおかけすることもあります。地域の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## <高等部>

本年度、杉の子特別支援学校本校高等部は、地域からの通学生6人、病棟生4人の計10人の生徒と8人の教職員で学校生活をスタートしました。学部開きでは、それぞれが自己紹介をした後に、学部目標を確認しました。今年も日常の学習やさまざまな行事で協力しあい支え合う中で、生徒の生きる力を育み、一人一人が輝ける高等部を目指して共に努力していきます。

さて、高等部は社会との接続となる最終学部ですので、卒業後の社会と調和した、健康で文化的な生活の実現のための進路指導が非常に重要になります。自立の基礎となる日常生活の安定のための取り組みや福祉制度の積極的な利用など、家庭、事業所等としっかり連携して、生徒一人ひとりに合ったさまざまな自立をめざして取り組んでいきます。



# < 中学部 > 白鳥中学校との交流

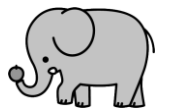
中学部では同じ加佐登地域にある白鳥中学校と学校間交流を行っています。生徒たちがともに交流を深め、互いに学びあうことを目的に、年間5回の交流を行っています。

5月20日(火)、杉の子特別支援学校体育館にて、本校中学部と白鳥中学校との、第1回学校間交流が行われました。白鳥中学校の福祉委員12名が来校し、3つにチームに分かれてみんなで楽しく自己紹介やペーパーをし、最後は記念写真を撮って、楽しく活動することができました。

①白鳥中学校1年生12名が来てくれました。対面式でお互いに代表あいさつ。杉の子は生徒会役員のあいさつのもと、東日本復興支援ソング「花は咲く」を歌いました



「つばめ」「ぞう」「さくら」の3チームに分かれました。



②3つのチームに分かれて自己紹介。友達になりましょう！

④最後は、各チームで記念写真を撮ってさようなら。とても楽しく交流できて、みんな楽しく活動できました。また会おうね！

第2回交流は、5月30日です。次回は白鳥中運動会に参加します。

## 中学部 運動会のお知らせ

6月27日(金) 9:40~11:40の予定です。



# 石薬師分校だより

## 文化・自然豊かな石薬師・・・・・・・・

日頃は、分校の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。分校のある石薬師地区には、広重の浮世絵でも紹介された【石薬師寺】を始め、歌人であり国文学者として有名な信綱を顕彰する【佐佐木信綱記念館】、椎の森のある【大木神社】

などがあり、校外学習の候補地に恵まれたところに立地しています。これまでも、季節の行事に触れることを目的に年始に散策に出かけたり、かつての宿場である「石薬師」から「庄野」までの東海道を歩く歴史学習に取り組んだりと地元で学ぶ機会を設けてきました。



また、大手量販店への買い物学習や体力作りとして校外歩行、公共交通機関の利用、職業科の授業として河曲駅周辺の清掃に出向くなど、日常の学習の場として様々なところに足を運んでいます。今後も、何かとご迷惑をお掛けすることも多かろうと思いますが、ご理解のほどよろしくお祈りします。



## 新棟の名称決まる・・・・・・・・

生徒増に伴う教室不足の解消を目的に着工した新棟が、この夏に完成予定となりました。4月より、未来を託す子ども達の活発な活動を期待しつつ新棟の名称について協議してきましたが、外観が見えてきた5月、「ゆうあい棟」に決定しました。この名称には、これから使用していく分校・高校両校の生徒達（あなたと私）が友情を育んでいくと言った願いが込められています。

2学期からは、職業科実習や石薬師高校との交流の場として活用され、具体的には、次のような教室が完成します。なお、9/3（水）にさくらホールにて両校主催のもと、開所式が予定されています。

### 1 F

さくらホール：200人収容大ホール。パーティションで4分割し作業室として使用。

音楽室としても活用。

作業室1：水耕栽培実習室。

陶芸作業場としても使用。

うのはなルーム：会議室等、多目的に使用。

### 2 F

作業室2：食品加工実習室。

作業室3：パソコン実習室。

